

NO	資料	頁	質問	回答	質問者
1	1 議事 (1)	2	「①相談支援の強化」とは、報酬向上に関する取り組みだけでしょうか。医療が深く関係する事例、多問題を抱えている事例、同居家族も問題を抱えている事例、拒否が強い事例などいわゆる困難事例への対応力向上についても相談支援の強化にあたると思います。	数ある地域課題の中で、喫緊の課題として挙げられていた一つに、報酬向上に関する取組みが挙げられたため、テーマを絞って取組みました。 本市の相談支援を強化するためには、今回取組んだ活動に限らず、様々な地域課題に取り組んでいく必要があると認識しておりますことから、どの地域課題を優先的に取扱うかなどを十分に検討した上で、調査研究してまいります。	星野委員
2	1 議事 (1)	2	スキルアップ研修において、支援を要している事業所の参加がないことは、支援を必要としていることを自覚していないという意味で、深刻だと思います。このような事業所にはどのようにアプローチすべきでしょうか。	参加事業所の増加を目指し、市職員と基幹相談支援センターにより、実務につながるテーマの選定などを検討してまいります。	星野委員
3	1 議事 (1)	2	基幹に電話が繋がらない、相談できないという実態は、相談支援事業所の業務において、どれくらい生じていることなのでしょう。相談支援事業所の業務に支障をきたすなら、基幹の人員配置を検討するなど改善策を市として検討すべきであると考えます。これまでも同様の意見が相談支援事業所から当会議に挙げられていましたが、実態をモニタリングし必要な対応を検討するとの市のスタンスであったと記憶しています。	相談支援事業者へのアンケートにより、（該当する圏域、時間帯、頻度など）実態を把握いたします。そのうえで、原因に応じ、対応策を検討してまいります。 また、相談の方法についても、電話に限らず、メールを活用するなどの方法をあわせて検討していきます。	星野委員
4	1 議事 (1)	2	圏域の基幹で支援できない事例、つまり障害福祉課と協働すべき事例とはどのような事例を指すのでしょうか。	利用者と支援者とのマッチングが折り合わず、本来の居住している圏域での相談支援の継続が困難な事例が挙げられます。	星野委員

NO	資料	頁	質問	回答	質問者
5	1 議事 (1)	3	就労継続支援事業所の横のつながりがまだ弱いとの課題が抽出されましたが、職能団体を構成する、それを市として後援するような案はいかがでしょうか。	委員ご提案の内容も含めて、松戸市就労継続支援ネットワーク主催者と連携し、就労継続支援事業所の横のつながりを強化するために取り組んでまいります。	星野委員
6	1 議事 (1)	4	②早期相談支援マップ ③ライフサポートファイル について これらを実際に活用している人の声 (②だと支援者 ③だと保護者) を聞くということは難しいでしょうか。 部会で活発に取り組まれていることはとても伝わってきていますが、実際使っている側からの意見を目にしたことがないので、今後の発展のためにも使い手側からの意見を吸い上げることは重要なのではないかと考えますがいかがでしょうか。	早期相談支援マップは、障害、保育、子育て、教育分野の支援機関の支援者向けに活用状況についてのアンケートを実施しました。その結果を、部会で検討し、内容の修正・アップデートを行いました。 LSFにつきましても、支援者向けに認知度・周知方法等についてアンケートを実施しております。今後は、実際に使用されている保護者さまを対象にしたアンケートの実施を予定しておりますので、より活用しやすいLSFをとるよう取り組んでまいります。	菊田委員
7	1 議事 (1)	4	IT化が叫ばれる昨今、LSFのアプリ化、電子媒体化は必須であると考えます。予算化の検討という要望がされていますが、市のご意見をお聞かせください。	LSFは、市HPからダウンロードし、入力できるようになっております。災害時や非常時には紙媒体がないと情報の共有ができないため、アプリ化については、支援機関から意見を踏まえながら導入について検討をしています。	星野委員

NO	資料	頁	質問	回答	質問者
8	1 議事 (2)	1	<p>検討した事例（6事例でしょうか）のまとめを当会議に示していただけますでしょうか。どのような事例で、誰がどのような議論を行い、解決策を模索し、どのような課題を抽出したのか、例えば市地域ケア会議の個別ケア会議事例のような形でまとめる方法を提案します。そうでないと（地域移行支援の周知不足という結論だけ示されても）議論ができないと考えます。</p>	<p>ご質問のありました検討した事例のまとめは、別紙の「地域個別ケア会議（精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築のための協議の場）課題集約表」のとおりであり、各基幹相談支援センターがこれまでに実施した地域個別ケア会議のテーマ、圏域ごとの地域課題を掲載しております。また、集約した地域課題から市全体の課題と今後の取組も掲載しております。</p> <p>この市全体の課題抽出の経過につきましては、各基幹相談支援センターから市へ報告をいただいた圏域ごとの地域課題について、まずキーワードを抜き出しました。その中で類似性があるものが「圏域ごとの地域課題の欄」の太字下線の文言となります。</p> <p>これらの文言は全て相談支援専門員に関する業務が含まれていることや、各圏域より「連携による支援体制」「理解が不足」「周知広報が必要」との課題が挙げられたことから、相談支援専門員を対象に、「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」および、地域移行支援の周知を行うことを市全体の課題への取組としました。</p> <p>この方向性について、当協議会副会長であり、千葉県委託事業である、「松戸圏域精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業」を実施している、特定非営利活動法人 LIFACTの江波戸委員に、事前に助言をいただくとともに、圏域ごとに課題抽出を実施した基幹相談支援センターへ説明・了承を得られましたので、この度、協議事項として挙げさせていただいたものです。</p>	星野委員
9	1 議事 (2)	1	<p>事例を検討するメンバーはどのように決めているのでしょうか。職能団体に推薦依頼を行う手法も含め、地域から募る方法を提案します。</p>	<p>基幹相談支援センターが精神障害者の地域移行・地域定着に係る個別事例を選定し、事例を検討するメンバーについても当該事例に関連する、圏域の医療・保健・福祉関係者を中心に、事例ごとに個別に声かけを行い選定しております。</p>	星野委員